

令和3年度の始まりにあたって

校長 川村 俊弘

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のために世界中がパンデミックに陥りました。日本でも、令和元年度末に緊急事態宣言が発令され、全ての学校（幼稚園等を含む）が臨時休業することになりました。そのため、様々な学校行事・地域行事が中止もしくは規模を縮小しての実施と、コロナ前の世界と全く変わってしまいました。この新型コロナウイルス感染症は現在第4波を迎えています。ワクチンは英米を中心として早急な開発がなされ、日本でもようやく接種が始まったばかりです。ワクチンの接種数の増加により、感染リスクは低減されるかもしれませんが、この新型コロナウイルス感染症に対する画期的な治療薬はまだどの国も開発していないのが現状です。したがって、私たちはこのコロナ禍で、十分な感染対策を講じながら教育を進めていく必要があります。

さて、令和3年度は令和2年度の反省をもとに、学校経営計画を次のように策定しました。

1 学校教育目標

人の心を思いやり、自ら学び、心も体もたくましい子供を育てる

2 校訓

やさしく かしく たくましく

3 キャッチフレーズ

元気なあいさつ、やさしい言葉、やればできると前を向き、進んで勉強、長小っ子

4 モットー

わくわく登校 満足下校

紙面が限られているので、今回はここに留め置きますが、詳細については、4月の学校便りでお知らせします。